

# ひがしの子

令和3年7月2日  
岐阜市立岐阜東幼稚園  
園長 藤井 佐由美



## 幼稚園PR活動にご協力ありがとうございます。

去る6月24日(木)には、岐阜市立幼稚園PTA連絡協議会において、「岐阜市立幼稚園のポスターお披露目会」が、加納幼稚園で実施されました。現在の両園のPTA本部役員と、昨年度までの本部役員数名と、両園の園長が集まり、お披露目した様子を「チャンネルCCN」、「中日新聞社」、岐阜新聞社」が取材してくださいました。ポスター制作にあたっては、両園の本部役員を中心として、

キャッチコピーやデザインを考えてくださいました。

それだけではありません。現在、岐阜市立幼稚園2園において、公共施設約90施設、民間協力施設約50施設に、「岐阜市の公立幼稚園を知っていますか?」、「大切なのは遊びこむこと」、「園章戦隊ひがしっこレンジャー」、「かのうようちえんのわ」、「ひまわりクラブ・ひよこの会」の5種のリーフレット及びチラシのセットを配布しています。

また、長森東、北、南、西校区においては、各自治会の掲示板にポスターの掲示と回覧板にてチラシの回覧を依頼しました。

さらに、地域の澤田新聞店のご協力を得て、新聞折込チラシを入れていただきました。

これらの取り組みは、本部役員の保護者の方が、「岐阜市立幼稚園(岐阜東)の良さを子育て世代の親に知ってもらいたい。」という強い気持ちの表れで成立したものです。

企画や構成、データ作成をしてくださった方、キャラクターデザインを生み出してくださった方、おみやげ券と引き換えのお土産を作成してくださった方、配布のために5種のチラシなどを袋詰めしてくださった方、民間協力施設に配布してくださった方等々、本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

それぞれのチラシやリーフレットには保護者の方の幼稚園に対する思いがいっぱいつまっております。見ているだけで、私たちがエネルギーをもらっています。こんなにも、幼稚園を愛してくださる保護者がいるものだろうか・・・と胸が熱くなります。

また、地域の方もとても温かく受け入れてくださり、新聞折込は、澤田新聞店の方が、「園長先生、(チラシが)一番上になるように入れるでね。」と言ってくださいました。自治会では、迅速な対応で地域の掲示板に掲示してくださり、回覧にも快く協力してくださいました。

皆さんの気持ちが伝わり、たくさんの親子が、岐阜東幼稚園のことを知り、仲間入りしたいと思えるよう、園としては、「遊びの中の学び」を実践していきたいと思えます。

※ボランティアの機会が多くなっています。ボランティアしてくださっている方、本当にありがとうございます。感謝しております。しかし、あくまでもボランティアのため、「できる人ができる時に・・・」というスタンスをお願いできるとありがたいと思います。ご無理のないようお願いいたします。



## 泥んこ遊びにご参加くださいましたありがとうございます。



6月25日（金）は、4・5歳児の泥んこ遊びがありました。できることなら、幼稚園最後の年だから5歳児も・・・と欲張ってしまったために、急な変更のお願いにも関わらず、大勢の保護者の方が都合をつけてご参加いただきましてありがとうございました。

一緒に参加してみたいかがでしたでしょうか。子供たちは、ドロドロを苦手と感じる子、遊んで

いるうちに思わず楽しくなってくる子、最初から思い切り楽しむ子等様々でした。子供たちにとって、自分だけではなくおうちの方が全力で遊ぶ姿をみて憧れをもったり、より楽しいと感じたりしたようです。自分の体と心で味わうあの泥の感触は、きっと子供たちの心の記憶に残り、この体験を通して様々なことを感じ取ったのではないかと思います。

コロナ禍ということで、大きな声を出さないように気遣ってくださっていた保護者の方々への心遣いにも感謝しております。その後の衣服の洗濯、子供たちの体洗い等、快くサポートしてくださり、本当にありがとうございました。



## 《7月の保育について》

### 【3歳児】

○先生や友達と一緒に思いきり水の感触を楽しむ。

○先生や友達に自分なりの表現で思いを伝えようとする。

自分の周りに目が向けられるようになって、友達がもっている物やしていることに興味をもって、真似をして遊ぶ姿も増えてきています。友達の名前を覚え、呼び合ったり誘い合ったりして遊ぶ姿があら

こちらで見られるようになってきています。家庭で、友達の絵を描いて持ってきたり、友達の



名前が話題に挙がったりするようにもなります。ままごとや電車ごっこ、砂場遊びや水遊びなど、気に入った遊びや興味をもった遊びが見つかる、大人数で集って遊ぶ姿も見られます。

「一緒」や「ちがい」を見つけ、それを伝え合う姿も見られます。

友達とのかかわりが増えてくると、“楽しい！”、“おもしろい！”という思いがさらに増していく反面、自分の思い通りにならない場面にぶつかり、泣いたり手を出したりしてもめることもあります。

まずは自分の感情や思いを十分に表現することが大切です。自己主張のぶつかり合いの中で大人に受け止めてもらうことにより、徐々に、葛藤しながら自分とは違う思いをもつ相手の存在を知っていきます。

教師が、それぞれの思いを受け止めつないでいく援助を丁寧に行うことで、自分の気持ちを切りかえるという体験を重ねていきたいと思います。

水遊びや小プール遊びを十分に楽しむ子供もいます。少しずつ水に慣れていくように援助していきます。

プールの準備や片付けには十分に時間を確保して、日々の繰り返し中でやり方を覚えたり、身に付けたりできるようにしていきたいと思います。

#### 【4歳児】

○友達に思いを言葉や身振りで伝えて遊ぶ。

○友達や先生と一緒に水の感触を体全体で楽しむ。



気の合う友達との遊びが楽しくて、誘い合って遊ぶ姿がさらに増えてきます。したい遊びや遊び方を相談したり、ごっこ遊びの中でそれぞれの役割を決めて遊んだりするようにもなります。

遊びの中で、自分がしたいことや思いを言葉で伝え合い、互いの気持ちがわかって遊べるようになる一方、うまく伝えられなかったり、思いがぶつかったりする

こともあります。4歳児はこうした時期がしばらく続きますが、この両面（伝え、わかり合う・うまく伝わらない）を経験することは、相手の話を聞いたり、思いに気付いたりすることができるようになるために、とても大切なことです。教師が一人一人の思いを十分に受け止め、仲介に入りながら、まずは、思いを「伝える」ことができるようにしていきたいと思います。

言葉で伝えることも大切ですが、友達の姿から、察して、考えて行動する力は、日々の生活の中で大人の姿をみて学ぶことも多くありますので、温かい雰囲気や漂っているようなクラス作りを心がけていきたいと思います。

七夕飾りなど製作では、作り方がわかるといくつも作ったり、自分なりの工夫を加えながら作ったりする姿があります。うんてい、鉄棒、プール遊びでの顔付けや浮いたり潜ったりすることに挑戦する姿があります。

“～をしてみよう！”、“～までやってみよう！”と自分なりの目標をもって取り組む姿が増えてきています。“できた”という喜びや達成感が味わえるように援助したり、上手いかない場合でも取り組みの過程を認め、励ましながら、達成感が味わえるようにしたりしていきたいと

思います。

### 【5歳児】

○自分の思いや考えを伝えながら、友達の思いも知ろうとする。

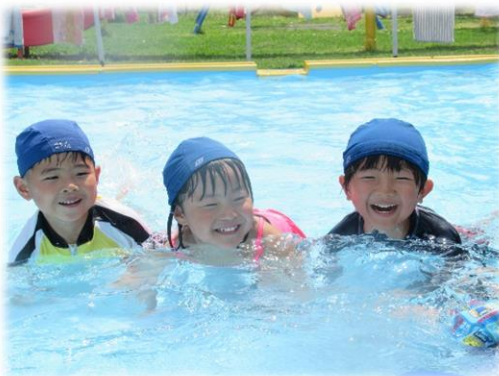
○自分なりの目標をもち、工夫したり、試したりして遊びを進めることを楽しむ。

日ごろの遊びや夏祭り等について、クラスで話し合うことが増えてきます。自分の思いを積極的に伝える子もいれば、そうでない子もいます。話をきちんと聞ける子がいれば、まだ十分に聞けない子もいます。(聞くことはできても、思いを汲み取ったり理解したりすることは難しい場合もあります。)

自分たちの生活や遊びのことを数人の友達やクラスで話し合う中で、友達の考えやよさ、アイデアなどに気付いたり、取り入れたりするようになります。

そのことが遊びを面白くしたり、楽しくしたり、生活しやすくしたりすることが分かってくると、自分の思いを伝えたり、友達の話を聞いたりするという気持ちも高まっていくと思います。一人一人の思いやイメージなどを教師がしっかり受け止め、つないでいくようにします。

プール遊びでは、「潜れるようになりたい」「泳げるようになりたい」など、自分なりの目標をもって頑張る姿が出てきます。“できた”という喜び、達成感が味わえるように励ましたり、見守ったりする一方で、運動(技術)面でのアドバイスをしたり、援助をしたりしていきたいと思っています。



7月6日(火) 9:00~11:30

「DIYおやじクラブ」にご協力よろしくお願いいたします。

今回は、地域の小酒井泉美さんを師匠としてお招きし、園庭のテーブル10脚を組み立て、色塗りして仕上げます。現在7名のおやじが、参加して下さる予定です。もし、当日、都合がついた、少しの時間なら大丈夫・・・という方がいらっしゃったら、ぜひご参加ください。

(電動ドリルがあると作業がしやすいです。)

※当日は、もしかしたら報道関係者が取材にみえるかもしれません。撮影を控えてほしい方は、予め教頭または園長までお知らせください。



6月30日は、家庭教育学級「たんぼぼ学級」にご参加くださりありがとうございました。

今回は、子どもの「自己肯定感」をもとに、本園の教育・保育の取り組みについて実際のお子さんの姿と照らし合わせてお話をさせていただきました。ご多用中にもかかわらず足を運んでくださいまして本当にありがとうございました。